

人権センター☆活動紹介

2014.10.26

よかかぜ祭

ヨーヨー祭り



市内小中学校生による人権作品展示



今年も大盛況！
長～い行列



お米すくい



北学童保育所クリスマス！キャンドル作り
2014.12.20

人権啓発を中心にすえた様々な活動を行っています。今回はよかかぜ祭と北学童保育所のキャンドル作りを紹介。また、貸館業務も行っていますのでお問い合わせください！！

なやみごと相談所開設

☆なやみごとや困りごとを人権擁護委員（市内在住6名）が無料での相談をお受けいたします。秘密は厳守されますのでお気軽にご相談ください。

※電話での相談はご遠慮ください。

場 所：中間市人権センター

2月18日(水)	13:30～15:30
3月11日(水)	13:30～15:30

「子育て女性再就職支援」出張面接

子育てと仕事を両立したい女性の方を応援します。
※前週の木曜日までに予約が必要です

予約問い合わせ

☎ 093-571-6440

場 所：中間市人権センター

日 時

3月 2日(月) 10時～15時

中間市人権センター 中間市岩瀬1丁目17-1 ☎093-245-3511
ピンクの建物が目印です。

よかかぜ

第 8 号

2015年(平成27年)
発行日：2月10日
発行：中間市人権男女共同参画課

人権センターだより

人権週間とは…

1948年12月10日は、国際連合の総会において、世界における自由・正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するために、世界人権宣言が採択された日です。このため12月10日を「世界人権デー」と決めました。我が国においても、12月10日を最終日とする1週間(12月4日から10日まで)を“人権週間”と定め、全国各地で取り組みが行われています。



人権イメージキャラクターKENあめちゃん

12月1日、街頭啓発を行いました。



師走初日のこの日、ショッピングモールなかまの4カ所の出入り口で、啓発チラシとタオルを配布しました。午前10時、寒風のなかを集まった参加者は、松上市長のあいさつを受けた後、それぞれの持ち場で行動を開始。社会福祉協議会、民生委員、人権擁護委員、自治会連合、さらに人権や障がい者福祉に取り組む各団体の人々と市職員によって、準備した650枚のチラシはまたたく間になくなりました。

このチラシには、毎月人権センターで開設している「なやみごと相談所」や人権講演会への案内が掲載されており、受け取った市民の方と情報交換する場面も見られました。

あわせて配布したタオルには、市内の小中学生から寄せられた人権標語作品の中から次の2点『ごめんねと言えぬ勇気大切に』と『みんな無視！でも君がするは君しだい』をプリントしました。若者の人権感覚も、啓発活動に一役買ってくれました。



平成26年12月9日

人権問題講演会『筑豊産炭地の人々の生活』

あそ たつ お

田川市石炭・歴史博物館館長の安蘇龍生先生にご講義いただき、併せて川柳入選者の方々への表彰式も行われました。



江戸時代以降の筑豊地区の炭鉱の発展を軸に、それを支えた多くの人々や炭鉱の生活の様子、川筋気質のとらえ方、さらに部外者を受け入れてきた同和地区のことをユーモア交えながらわかりやすく教えていただき、私達の住む地域を見直すきっかけとなりました。



於：中央公民館

男女共同参画川柳 入選作品

家事育見 夫婦仲良く 子も育つ	大吉 祥平さん
カレンダー 家事公平に 妻と僕	古野 努さん
キミとボク 二人で三の 力出す	和田 澄雄さん
任せたり 任せられたり パパとママ	志岐 啓子さん
ひたむきに 打ち込む姿 性別越える	古城 光昭さん

人権啓発川柳 入選作品

叱っては にっこり笑う 母の愛	大村ふみこさん
なくそうよ 差別という名の 境界線	小浦 希実さん
さしのべた 君のその手が 命綱	猪谷 勇大さん
バリアフリー 差別の心を 取り除こう	川角 悠華さん
見つめよう 言葉使いと 思いやり	酒井 達毅さん

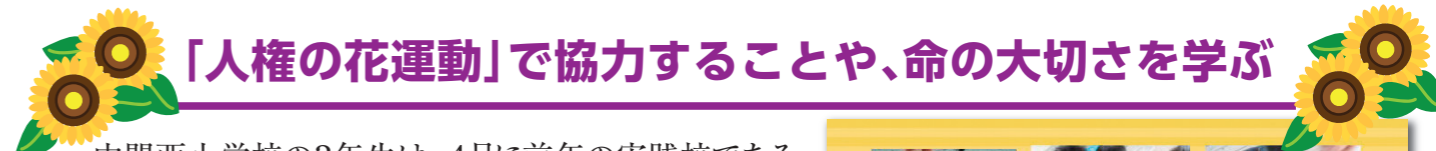
たくさんのご応募
ありがとうございました



人権教育はいま!

シリーズⅢ
中間西小学校

シリーズ第3弾は、中間西小学校の人権教育を紹介します。今回は、「人権の花運動」の活動を通して、子どもたちが学んだことや、子どもたちから気づかされたことについて報告します。



「人権の花運動」で協力することや、命の大切さを学ぶ

中間西小学校の3年生は、4月に前年の実践校である中間小学校から、「ひまわりの種」をいただきました。「手をかけた分だけ、大きく成長するから、みんなで育てよう。」とお世話が続けました。ポットから、双葉が出て、さらに本葉へと成長し、水をあげながら「早く大きくなってね。」という声かけをしながら、成長を見守りました。しばらくすると、子どもたちの背丈よりも大きく成長しました。7月末台風接近!! みんなで協力して元気に育った「ひまわり」は、強風の中でも何事もなく無事に乗り越えることができました。これまでのお世話や観察を通して、子どもたちもたくさんを感じ、学んだようです。



ひまわりの種とり

9月5日

《子どもたちの感想から 感謝状贈呈式より》



(人権の花 感謝状贈呈式より)

○ 中間小のみんなが育てたひまわりの種、贈呈式にもらって、りっぱな花に育てることを誓いました。5月に、本葉が出たので、とてもうれしかったです。大きい花壇に植えました。花壇の手入れはとても大変でした。それから、毎日かかさず水やりをしました。毎日水をやっているといひまわりの成長がとまらなくなりました。水やりをする時に、今日はどれくらい大きくなっているかを見るのが楽しみでした。

<後半略>

○ ひまわりを学校で育てたら、みんなも笑顔になって、ひまわりは魔法のひまわりじゃないかなと思いました。最後に、

理科の授業の時間に種をとり、かわかしました。そして、次の中間南小学校に送りました。すごく元気なひまわりに育ってほしいと思いました。中間南小に行っても、西小学校のことやひまわりを一生懸命に育てた私たちのことをわすれないでほしいなと思いました。 <前半略>

おわりに

毎日の水やりや草取り、一生懸命世話してくれた子どもたち、ひまわりの成長とともに、やさしい思いやりの心も大きくなりました。中間小学校から種を受け取り、それを大切に育てて、次の南小学校へ送る取り組みで、植物にも命があり、その命が受け継がれていくことを考えさせられる活動ができました。西小学校の子どもたちの熱い想いは、きっと南小学校にも届くでしょう!



(人権の花 感謝状贈呈式より)